

Table with 4 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名. Includes details like 鉄の歴史村施設管理運営事業, 所属部 吉田総合センター, 所属課 自治振興課, 課長名 神田みゆき, 電話番号 0854-74-0211, 4404, 予算科目 011315052002, 中事業 鉄の歴史村施設管理事業.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述), ③開始したきっかけ. Includes checkboxes for 単年度のみ, 単年度繰返, 期間限定複数年度, and details of management tasks and start date (昭和59年以降).

(2) トータルコスト

Table with 2 main parts: ①事業費の内訳(概要) and ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等). Includes sub-tables for 事業費内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 2 columns: 手段 (Main activities for 23 and 24 fiscal years) and 指標名 (Activity indicators like 指定管理施設運営に関する協議回数, 施設修繕箇所数).

Table with 2 columns: 目的 (Objectives like 対象, 意図, 結果) and 指標名 (Target and Result indicators like 雲南市人口, 指定管理団体, 施設入館者数, 上位成果指標).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況, ②この事務事業に関する改革改善の取り組み経緯, ③この事務事業に対して関係者からの意見や要望. Includes text about environmental changes, management improvements, and stakeholder feedback.

事務事業名	鉄の歴史村施設管理運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	自治振興課
-------	---------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ たたら製鉄に注目し設置された鉄関連施設は、地域文化や歴史遺産、遺構を背景に利活用されている。施設を拠点として実施する各事業による情報発信、地域間交流は地域文化の振興、まちづくり、地域活性化等に寄与し、政策に直結している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 市有施設の有効活用を図るための事業として妥当であるが、一部の施設についてはその目的や機能を再検証し、今後の有効活用のために見直す必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 文化振興や施設の設置目的及び、活用方針等に基づき対象、意図は妥当。一部の施設においては今後の利用形態や利用内容について対象、意図の見直しを検討していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 菅谷たたらへの注目による集客力の向上が認められ、今後も期待できる(島根景観大賞受賞による来場者増やH24年度以降文化財の修理事業による注目)。菅谷たたらへの修理期間は菅谷たたらを観覧ができないが、高速道路開通にあわせた各施設の機能拡充や施設連携による向上が可能。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 地域文化や歴史遺産を利活用している施設であり、政策に直結する。施設と展開される事業は雲南市ブランドとしての情報発信や地域間交流、地域文化振興及びまちづくり、地域活性化に寄与。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 当地ならではの地勢、歴史、文化等を背景とした施設管理運営、関連事業がされ、独自事業として展開する必要があり。施設老朽化対応として「木の国文化館」は閉鎖しホール機能を他施設に集約した。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 指定管理料については削減はできない。施設修繕については、老朽化にともなう修繕箇所、修繕費も増加しており、現事業費の削減は困難。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 各施設の修繕対応や、「木の国文化館」の直営管理、保全を実施。今後も人件費の削減に直結する事務改善余地は少ない。指定管理団体との協議や、文化財施設に関する教育委員会、関係団体、個人(土地賃貸借契約)との調整も必要であり、一定の業務時間は必要。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 市民及び市外住民、団体、組織等を対象とした幅広い事業展開を、指定管理等を通じて実施しており適切である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	敷地・施設に見られる経年変化や老朽化への対応は、破損や影響が顕著なものに対応を実施している。今年度同様に、今後も行政と管理者とが対応の優先度について共通の認識を構築し対応することが重要。今後の施設に関する利活用策については、より一層の連携のもとで具体的な対応をもって進展を図るべき。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 市は、施設の機能内容の充実に取り組み、維持管理経費や一部施設の管理、活用の見直しが必要。指定管理者は、各種団体・組織、住民団体等との連携強化や、各施設の内容の充実、情報活用化が必要。 現在、菅谷高殿への関心は改めて高まりつつある。今後の大規模修繕にあわせ、施設の有効活用と、市への波及効果が求められる。高速道路開通にあわせ交通アクセス環境の改善、当該事業の新たな展開へ向け、市及び指定管理者が一層連携し対応する必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 文化財については大規模改修を実施し保全が図られる。当該事業の各施設については修繕やアクセス環境の整備、展示やガイド内容の見直しにより利活用機会の向上への対応が不可欠。高速道路開通に合わせた市道改良、駐車場設置、景観保全が必要。一部施設は実態に即し管理運営の見直しをする必要がある。																							